

ひとづくり推進計画（令和6年3月改訂）の概要

視点	新たに追加する取組		該当ページ
ウェルビーイングの向上 志教育の推進（持続可能な社会の創り手の育成）	いじめ、不登校、暴力行為等への対応	専門家との連携を図りながら、子ども相談・支援室を中心とした生徒指導・教育相談体制を充実し、学校の組織的な対応を支援するなど、包括的な児童生徒支援体制を構築します。	P30
		不登校児童生徒の状況調査を行い、より良い支援方法の検討や多様な教育機会を確保します。	
		学校・家庭・地域が連携・協働した情報モラル教育を推進します。	
	望ましい生活習慣の形成	運動時間の減少やスクリーンタイムの増加などが指摘されていることから、生活習慣、食習慣の定着に向けた学校・家庭・地域の連携を進めるとともに、健康課題の解決に向けた学校保健を充実します。	P30
	「家庭教育支援チーム」の活動支援	「家庭教育支援チーム」の立ち上げや活動を支援することで、保護者等への学習機会の提供や地域における相談・支援体制の充実を図ります。	P14
	ライフキャリア教育の推進	地元企業や団体との連携による職業観等の育成など、人や社会との関わりを通して、自らの生き方を考えるライフキャリア教育の推進により、将来への夢や希望、高い志を持った人材を育成します。	P32
「地域とともにある学校づくり」の推進	地域資源を活用したふるさと学習（探究学習）を展開し、地域の課題に向き合う学習に取り組むことで、地域の担い手としての意識の高揚を図り、将来靱で活躍するひとづくりにつなげるよう努めます。 子どもたちと地域住民との熟議を通して、子どもたちの地域に対する思いを引き出すなど、郷土愛や地域貢献・社会貢献への意識、自己肯定感の高まりを目指します。	P32	

ひとづくり推進計画（令和6年3月改訂）の概要

視点	新たに追加する取組		該当ページ
ウェルビーイングの向上 志教育の推進（持続可能な社会の創り手の育成）	その他の高校魅力化への支援	萩探究部など学生が活躍できる機会を創出するとともに、萩ならではの教育の魅力を発信し、市内で学びたい学生を増やします。また、探究学習の土台となる能力が身に着くよう、魅力化プロジェクト会議等を通じて、小・中学校と高等学校が一体となって、目指す子ども像の育成に共通して取り組みます。	P34
	地元の高校へ進学しやすい環境の整備	下宿費の一部を支援することで、島しょ部や遠隔地から、市内高等学校に進学しやすい環境を整備します。	P34
	文化芸術活動の発表機会の提供	創作作品の展示発表や市民が文化芸術に親しむための環境機会を提供します。	P52
ICTの活用	小中一貫教育の推進及び主体的、対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実	ICTを活用して、個人ごとの傾向を捉えた、個別最適な学びを進めるとともに、ICTの良さを活かしたグループワークや遠隔合同授業など協働的な学びの充実を図ります。	P30
	教育環境の整備	プログラミング等、導入されたタブレット端末を一層活用できるようICT関連教材の充実に努めます。	P31
部活動の地域移行	スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保	地域での多様な体験や様々な世代との交流等を通じた学びの創出ができる環境を整備します。	P31
	スポーツ指導者養成研修会の開催	青山学院大学陸上部及びアスリートキャリアセンターが共同開発した指導者育成カリキュラムを展開し、スポーツや地域部活動を支える人材の育成に努めます。	P53
その他	基礎体力の向上	保護者の理解、協力のもと、体力向上につながる運動を宿題として取り組むなど、家庭や地域と一体となった取組を推進します。	P30
	学校施設整備・充実	近年の猛暑に伴い、特別教室へのエアコン設置を推進し、児童生徒が安全に学べる環境を整備します。	P31